

earth observatory

Today's Image: Hurricane Flossie

Breaking News: Climate Change, Permafrost Thaw After Emissions (August 8)

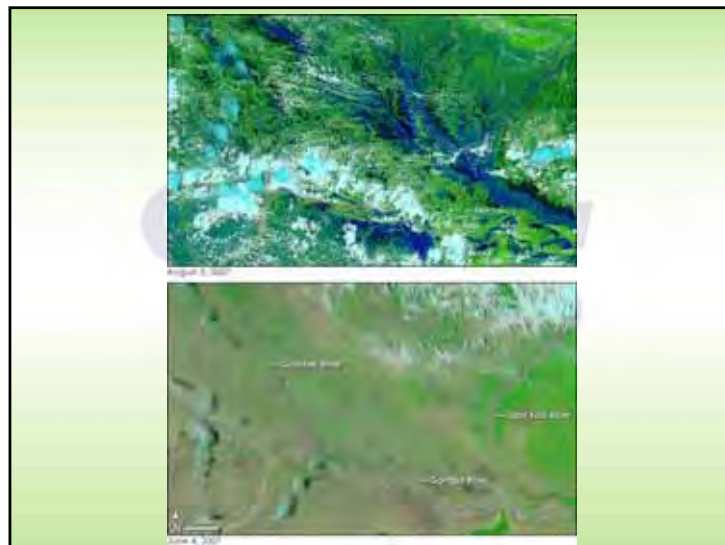
Current Stories: Global Warming, Questions & Answers

Visible Earth: Visible Earth Observations

NEO: Near Earth Objects

Subscribe to the Earth Observatory

http://earthobservatory.nasa.gov/



CREC - Centre for Research on the Epidemiology of Disasters

The Centre: CRED promotes research, training, and information dissemination on disasters, with a special focus on public health, epidemiology, structural and socio-economic aspects.

Our goals: More information on the Centre for Research on the Epidemiology of Disasters.

Disasters of the Week: June - 17 June 2007. Natural Disasters: China (P. Rep.), floods; Canada, floods in British Columbia; United Kingdom, floods after thunderstorms in North-West.

EM-DAT: The International Disaster Database provides methodologically-completed data on global disaster occurrence and impact.

EM-SEANET: A project to improve the quality of public health response in disaster and conflict-affected populations in Southeast Asia.

CE-DAT: The Complex Emergency Database: standardized and comprehensive data on the human impact of conflict.

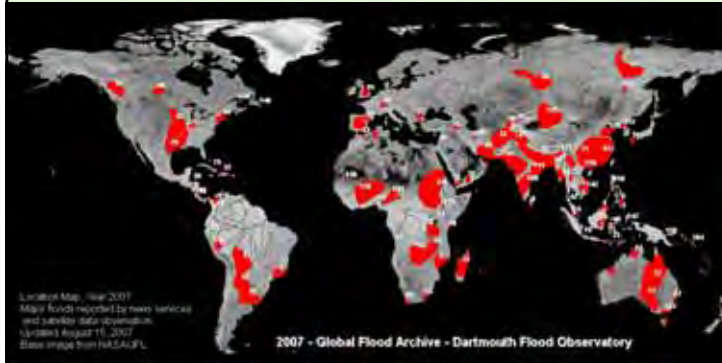
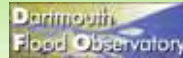
EM-BIB: The Bibliography Database: Search our collection of publications on disasters, conflicts and their human impacts.

ほとんどすべての災害戦略提案の基礎データ

CRED - Université Catholique de Louvain - Ecole de Santé Publique - 30.94 Clos Chapelle-aux-Champs - 1200 Brussels - Belgium

Tel: +32 (0)2 764 33 27 - Fax: +32 (0)2 764 34 41 - Email: cred@espp.ucl.ac.be

## Dartmouth Flood Observatory の速報



2007 Jan 1-Aug 15: Death 5464, Evacuated 23,757,377, Loss \$ 14,139,900,000

## 日本の貢献:能力開発

- 水分野での能力開発の筆頭
  - UNESCO-IHE, NL (1957-) Delft Spirit 修了生13400人
- GRIPS-BRI-ICHARM合同災害修士プログラム (JICA 研修プログラムの一環)
  - 建築研究所 地震コース(1962-)1300人の修了生、津波コース(2006-)
  - 土木研究所/ICHARM 河川ダムコース(1967-)500人、ハザードマッピングコース(2004-)
  - これらの実績に基づき地震・津波修士(2006-)、洪水修士(2007-)
- 京大防災研究所、防災科学技術研究所、アジア防災センター
  
- 教育はすべての基本
- 「持続可能な開発のための教育十年(UND of ESD: 2005-14)」は日本の提唱であり、その中心に防災教育を位置付けるべき
- 防災文化、社会の防災技術、予測のハイテク技術等を教育する
- 学校、社会での防災教育、メディアの取り組み等で、日本は進んでいる

## 日本の貢献:災害ISO

- UNESCO松浦事務局長の提唱で、Agenda21, MDGs 実現のためのモニタリングシステムとして、国連WWAP(世界水評価プログラム)が立ち上げられた。
- 災害準備、防災の主流化、防災教育などもモニタリングが必要である。
- WWAPの一環として、ICHARMでは水災害準備指標を開発しているが、これは国際基準(ISO)として使うことが可能である。
- EUでは、Flood Directive (2007)を決定し、域内での共通目標としている(2011に第一回のレビュー)。⇒アジアはアジアの手で

## 結語:温暖化適応への提言

- 防災を政策決定の主流に:国づくり戦略のパラダイムシフトが必要
- 防災を通じた科学技術外交
  - 「横浜戦略」、「兵庫行動枠組み(HFA)」は世界の指針
- 情報:
  - 津波警報⇒洪水警報:産学官一体となって衛星-モデル-予報-配信システムを開発、提供
  - モニタリング、アジアから防災ISOを
- 教育:インフラ技術、ガバナンス、防災文化 留学生1万人受け入れ UND of ESDの一環として
- ODA: 10%防災条項 開発とコミュニティー貢献

# 気候変動が食糧生産（農林水産業）に及ぼす影響とその適応策

(2007年8月20日)

筑波大学  
生命環境科学研究科  
林 陽生

## 農林水産業は影響を及ぼすと同時に影響を受ける

気温上昇 ばかりでなく  
CO<sub>2</sub>濃度上昇、降水量や降雨形態の変化(増加)、日射量の減少  
技術開発・脆弱性評価

背景  
IPCC第4次評価報告書  
迫る第1約束期間

平成19年6月  
21世紀環境立国戦略

平成19年7月  
農林水産省地球温暖化対策総合戦略

緩和策

地球温暖化防止策⇒二酸化炭素濃度の安定化

森林吸収源対策、バイオマス資源循環利用、食品産業などの環境自主行動計画、温室効果ガス排出削減、畜産分野の温室効果ガス排出削減、漁船の省エネルギー、各種整備事業における自然エネルギー利用、地産地消の推進、など

避けられない負の影響に対する軽減策・適応策

気象被害などの発生状況を踏まえた適応策、特に漁業ではモニタリングの充実、地球温暖化の因子を総合的に考慮した予測モデルの構築、影響を考慮した世界食料需給予測、品種の改良と普及

適応策

